

〔非配布〕

第23回日米知事交流事業の概要
(日本滞在記録)

平成7年(1995年)10月25日～11月2日 ✓

27日～11月2日

全 国 知 事 会

第23回日米知事交流事業の経過について

平成7年10月27日（金）から11月2日（木）までの7日間、本会の招聘によりT. G. トンプソン全米知事会会長（ウィスコンシン州知事）を団長とする米国知事団一行6名が来日し、第23回日米知事交流事業として京都、岡山、香川の3府県を訪問し、両国の州・都道府県に関わる主要な問題について各知事と懇談したほか、各府県の産業・文化施設等を視察するなど、日米両国の相互理解と友好親善に努めた。

また、トンプソン米国知事団団長は、10月30日岡山県における長野知事（全国知事会会長）との懇談で、「1997年の適当な時期に、全国知事会知事団を招いて米国で第24回日米知事会議を開催する」ことを表明した。

なお、米国知事団は、当初10月25日（水）に来日し、東京において10月26日に日米知事会議の開催、政府要人の表敬訪問等を予定していたが、直前に至り米国内の事情により来日を2日間遅らせることとしたため、計画していた東京での知事会議、要人表敬を割愛せざるを得なくなった。

以下、米国知事団のメンバー、国内滞在日程及び各府県知事との懇談概要を次のとおり取りまとめ記録することとした。

目 次

1	米国知事団名簿	1
2	米国知事団滞在日程	2
3	主要行事概略	
	・ 荒巻禎一京都府知事主催米国知事団歓迎レセプション	5
	(平成7年10月28日)	
	・ 長野士郎全国知事会会長ートンプソン全米知事会会長会談	11
	(平成7年10月30日)	
	・ 平井城一香川県知事表敬訪問	21
	(平成7年10月31日)	

1 米 国 知 事 団 名 簿

ウイソコンシン州知事 (全米知事会会長) Wisconsin Governor(Chairman of the NGA)	T. G. トンプソン Tommy G. Thompson
NGA事務総長 Executive Director	R. C. シェツパク Raymond C. Scheppach
NGA法律顧問・上席政策アナリスト General Counsel・Senior Policy Analyst	V. ベッカー Victoria Becker
(随 行)	
知事補佐官 Aid to the Governor	N. イライアス Nathan Elias
ウイソコンシン州警護官 Wisconsin State Trooper	J. ボムバック Jerry Baumbach
ウイソコンシン州知事日本関係アドバイザー Advisor to the Governor on issues related to Japan	M. ネシェック Milton Neshek

○ 米 国 知 事 団 地 方 視 察 日 本 側 同 行 者

全国知事会事務総長	砂子田	隆
〃 国際部長	石 場	雅 美
〃 国際部副部長	岩 本	広 幸
〃 国際部参事	原	重 夫
通 訳	木 内	摩理子

10月31日(火) 09:00 岡山国際ホテル発(バス) 香川泊
09:40 倉敷着 (高松国際ホテル)
09:40 大原美術館視察
10:50 倉敷発
11:00 瀬戸大橋与島視察(咸臨丸乗船)
14:20 与島発
15:00 平井香川県知事表敬
15:40 屋島視察
17:10 高松国際ホテル着
18:30 香川県知事主催歓迎レセプション(高松国際ホテル)

11月1日(水) 09:15 高松国際ホテル発 東京泊
09:30 栗林公園視察
11:55 香川発(ANA634便)
13:05 羽田空港着

11月2日(木) 11:15 帝国ホテル発
14:40 成田空港着
15:20 成田空港(NW006便) 帰国

3 主要行事概略

荒巻禎一京都府知事主催米国知事団歓迎レセプション(概略)

〔とき〕 平成7年10月28日(土) 午後6時半～

〔ところ〕 都ホテル 鳳凰の間

1 米国知事団紹介(シェツパク事務総長)

- T. G. トンプソン(ウィスコンシン州)知事は現在3期目の知事であり、最も長い経歴を持つ知事である。
- 知事は全米でも、教育、福祉等に精力的かつ革新的な知事として有名である。

2 荒巻京都府知事歓迎挨拶

- ようこそ京都へおいでいただき心から歓迎申し上げます。また、友好と親善を深めるため入洛されたことを歓迎する。
- シェツパク事務総長のご説明等により大変立派な業績を有される知事と承った。
- 会議の開催が都合で無理ということなので、日米の知事の業務、権限などの話を、また互いに質問したりすることにより、有意義な時間になると思われる。
- 京都は西暦794年に日本の首都とされて以来、明治(1867年)まで日本の都であり、自然的環境、景観にも優れ、京都大学出身者はノーベル賞を受賞された方も多い。
- 日米間には貿易問題、沖縄の基地問題等、多くの問題があるが、両国の信頼関係はさらに深く根付いているはずである。
- どうか今宵は楽しい一時を過ごされ、日米の一層の友好親善交流の発展を祈念いたしたい。

3 トンプソン・ウィスコンシン州知事挨拶

- 私どもは、古くて美しい自然と歴史のある京都府を訪問することができて感謝で一杯だ。また、親切なおもてなし、歓迎に対し重ね

4 懇談内容

(トンプソン知事)

キッコーマンはウィスコンシン州に工場を持ち、またいろいろな製品も輸入していただいている。千葉県とウィスコンシン州との関係は素晴らしいものであり、自負できるものである。

今、最も大きくかつ興味のあるエキサイトする大変重要な問題に取り組んでいる。分権は米国も一生懸命に取り組んでおり、日本でも砂子田事務総長、各知事等と一緒にやっているとのこと。N G Aは米国で、日本では全国知事会が分権の推進に全力を尽くしているが、これは大きな変革であり革命的ともいえる。

(荒巻知事)

50年余前、日本の地方自治制度ができたとき、米国の制度を一つの理念型としており、そういうものができたらと考えたものだ。

(トンプソン知事)

この変革への取組みは必ずうまくいくと思う。中央に寄り付くのではなく、権限をもらって今後州の力を高めていくことは必ずや住民の福祉に役立つはずだ。

(トンプソン知事)

日本の地方の収入はどのような方法で得るのか。

- ① 地方税率を上げるか
- ② 国からもらってくるか

(荒巻知事)

税率は制度的に自由にならなず、地方独自で上げることはできない。一般的には地方独自の収入は総収入の30%（3割）ぐらいしかない。

京都府の例で言えば、概ね、税収が36%、国の補助金が15%、借入金10%、交付税（政府からの所得税、法人税、酒税の合計の32%、消費税の一部）15%等である。

この中には府が自由に使用できるものと、目的別に用途が限定されているものがある。また、特別会計で管理する交通、水道、病院等の事業もある。

っている傾向にある。

しかし、オムロン、任天堂、京セラ等といった電気・電子産業も有力であり、これらは逆によいようだ。成長率は0以下であり、税収は3年連続で下向しており、7年前とほぼ同じ水準となっている。

(トンプソン知事)

農地の価格はどうか。また売買は？

(荒巻知事)

売買は難しい。農地として保全が定められている地域では法律的には原則として農家しか買うことができない。ただし、農地からの転用が可能な地域では宅地等として売却するとなれば相当高くなる。なお、農地を他の用途に利用する場合、面積により手続(権限)が違ってくる。

5 その他

(トンプソン知事)

日米両国の知事、国会議員等で財政税制等のいろいろな問題について懇談する機会を持つことを提案したい。

(砂子田事務総長)

10月30日(月)岡山県知事(全国知事会会長)を訪問の際、そういう話を提案されたら如何か。岡山県知事はそういうことに非常に熱心であり、積極的に取り組まれるであろう。

長野士郎全国知事会会長ートンプソン全米知事会会長会談

〔と き〕 平成7年10月30日(月)

〔ところ〕 岡山コクサイホテル

〔出席者〕

(アメリカ側)

トミー・G・トンプソン全米知事会会長

レイモンド・シェパック全米知事会事務総長

他代表団一行

(日本側)

長野士郎 全国知事会会長

高橋幸定 岡山県議会議長

砂子田 隆 全国知事会事務総長他

〔懇談内容〕

(長野知事)

トンプソン知事、代表団一行には、ようこそ岡山にお越し頂き、歓迎申し上げます。私は、40年ほど前になりますが、民主主義の勉強でアメリカを訪問した際に、ウィスコンシン州のマディソンとミルウォーキーに行きました。ビール工場に行ったのを覚えていまして、美しい自然、酪農などの産業も発達しており、トンプソン知事が全米知事会会長として来られたことをとりわけ嬉しく思っています。本日は、リラックス頂いて大いに会談致しましょう。

(トンプソン知事)

私どもの州は、千葉県と友好提携しており、日本への訪問は、今回で6回目になりますが、岡山は、初めてです。今日は、美しい山河を見ながら、知事が構想された吉備高原都市を視察しましたが、多くの身体障害者の方々の働く吉備松下の訪問では、深い感銘を受けました。知事の障害者への暖かい心を感じるとともに、この美しい庭のあるホテルにも出資されていると伺い、知事の素晴らしいビジョンに感服しています。今日は、この滝のある美しいホテルで、中央集権から地方分権についての話のできることを楽しみにしております。また、砂子田事務総長とも一緒に、全国知事会と将来どういうふうに関係してい

(トンプソン知事)

中央政府の方から額を決めることはあるかと思いますが、地方政府の方にも力はあるのでしょうか。

(長野知事)

法律で決まった算定をするのです。政府に勝手に決めさせるわけにはいきませんので、これは国法で決まっています。32%は、当然地方のものになります。それと地方税そのものがあります。これだけは、地方の分野として守りますが、ただ、補助金といったものがあります。

(トンプソン知事)

補助金の種類などはどうなっているのですか。

(長野知事)

500位はあると思うんです。中央政府の各課は、すべて補助金をもっています。

(砂子田事務総長)

道路、農業、福祉でも全て補助金があり、義務教育等の負担金を含めると約13兆円を超えています。

(トンプソン知事)

国からのお金ですが、知事が頂いたそのお金について予算を考えるのですか。

(長野知事)

地方税収と今の補助金等と財源調整のための交付税収入と、それでも足りないものは借金することになります。

(トンプソン知事)

借金は、地方債ですか。

(長野知事)

この地方債にもいろいろ資金があって、政府のコントロール下にあるのです。

(トンプソン知事)

知事は、これらのお金を一つにまとめて毎年予算を組むのですか。

(長野知事)

党と事前に相談しておきますから、変更はありません。

(トンプソン知事)

ということは、知事が中央政府からお金を貰ってきて、予算を組み、高橋議長のところでは、議会の承認が得られるようにすると理解しているのでしょうか。

(高橋議長)

そうです。

(トンプソン知事)

私は、日本のシステムの方が良いと思います。私は、2年に一回大きな予算をたてるわけですが、議会にもって行くと、議会は自分達の好きなように変えようとしています。私と議員とのやりとりは、たいへんなものです。特に、編成したものと近いところで折り合うように努力することは、たいへんなことです。

(長野知事)

たいへんでしょうね。でも私達もそうしているのですよ。

(トンプソン知事)

高橋議長と知事との意見が異なる時は、どうするのですか。例えば、知事が、福祉にもっと使うと言い、議長は、福祉でなくて道路やインフラに使うべきだという場合。

(高橋議長)

知事は予算を組む前に、福祉はこうで、あれはこうだと、事前に議会に話を通して、議員の意見を聞いてくれるので、スムーズに事が運ぶのです。長野知事は、国にあって、100%お金を取ってくるし、構想や考え方が素晴らしいので賛成する方が多いのです。

(トンプソン知事)

違いがでた場合には、知事が調整されるのですね。

(長野知事)

そうなのです。

(トンプソン知事)

長野知事は、地方分権にした方がいいと、最初に言われた方だと聞

できず、私一人になったのです。

(長野知事)

難しい状況の中で、お越し頂いてありがとうございます。

(トンプソン知事)

重大な問題であると同時に、大変エキサイトする事柄です。平和的な革命と言えるかもしれません。誰が権力を握るのか、連邦政府なのか、それとも州政府なのか、とても熱くなる問題です。

(長野知事)

たいへんな事ですね。私達にもその問題があるのです。今、国に地方分権推進法というのができて、地方分権推進委員会というのができております。それで、その委員会をサポートするために、我々も一生懸命にやっている最中なのです。

(トンプソン知事)

それは、知事会がやっているのですか。

(長野知事)

知事会も、市も町村もやっていますが、その委員会は、国の法律でできた委員会なのです。11月には、私も出て行って色々言わなければならぬのです。砂子田事務総長が色々工夫して段取りを作ってくれるので、それに従って、私は出て行くのですが、そのために、砂子田さんのところには、県や市などから13人出して、地方分権の推進のためにいろんな資料を集めたり、データを作ったりして、今の委員会に働きかけることを一生懸命しているのです。

(トンプソン知事)

その委員会の会長は誰なのですか。

(長野知事)

諸井さんといって、秩父セメントの会長をしています。委員には、学識経験者や公共団体の代表者もいます。今、府県の代表者として、宮城県と神奈川県の前知事がいます。

(トンプソン知事)

その委員会の答申は、いつ出されるのですか。また、答申が出されたときに、国会はそれを受け入れるのでしょうか。

(シェパック事務総長)

そうなのです。連邦政府は、障害者や低所得者の子弟にお金を支給していますし、同時に、いろんな制限を課したりして、介入しようとしています。勿論、誰が州の教育を行うかについては、州自体によって決められることは事実です。州によっては、州政府の役割が大きく、60%、70%の資金を出しますが、場合によっては、自治体が、実質的にコントロールし、州は、20%、30%の資金だけを出すこともあります。

(トンプソン知事)

福祉はどのように取り扱われているのでしょうか。例えば、父親のいない母子家庭で、働けない場合、どこが政策を決めるのでしょうか。

(長野知事)

今までは、国が全部たてたのです。国がたてるのは、抽象的なことです。各府県がたてたのです。それでも、抽象的ですから、個々の市町村がたてているのです。

(トンプソン知事)

誰が、お金をを出すのでしょうか。

(長野知事)

ものにもよりますが、お金は、国と県と市町村で、それぞれ分担しています。

(砂子田事務総長)

非常に分かりづらいと思います。日本の行政のシステムというのは、国と県と市町村がお互いに助け合ってやるという行政をやっていますから、「この仕事は国です、この仕事は県です、この仕事は市町村です」と完全にわりきっていないのです。非常に融合された行政になっています。ですから、お互いにやらなければならないのですが、最近では、高齢者の問題など福祉については、市町村でやるべきだというふうに変ってきていますし、そういうふうなお金の与え方をしないとこれからなかなか進まないと思います。そういうことも分権の一つなのです。

平井城一香川県知事表敬訪問（概略）

〔と き〕 平成7年10月31日（火） 午後15時～

〔と ころ〕 香川県庁 知事第二応接室

1 平井香川県知事挨拶

- 日米知事の交流も23回を数え、遠路はるばる香川県にお越し頂き、県民を代表して、心から歓迎申しあげる。
- 米国と香川県とは、長い交流を重ねている。古く1860年には、咸臨丸が東京の品川を出港し、37日をかけて太平洋を横断し、サンフランシスコに到着したが、この乗組員96名のうち、35名は、皆さんが、先程訪問された与島の周辺に点在する塩飽諸島の出身者であり、先程、乗船頂いた船は、当時の咸臨丸を再現したものである。
- ウィスコンシン州は、アメリカの心臓部と言われる中西部に位置し、高い教育と技術水準をもつ美しい工業州であるとお聞きしている。香川県とは、アップル市と観音寺市が姉妹提携しており、市民の交流も行われている。
- 本県は、世界に開かれた魅力ある田園都市香川の形成を目指し、先程視察頂いた瀬戸大橋や、高松空港、高速自動車道などの交通体系の整備効果を最大限に生かし、発展しようとしている。また、風光明媚な瀬戸内海と緑の讃岐山脈に抱かれた豊かな自然と歴史に育まれた土地柄であり、短い間ではあるが、本県の姿を直にご覧いただきたい。
- 本県に一層のご理解を頂くとともに、本日米知事交流が成果を挙げられるよう祈念する。

2 トンプソン知事挨拶

- 本日、美しい瀬戸内海を素晴らしい大橋を渡って香川県を訪問することができた。ウィスコンシン州は五大湖に面しており、瀬戸内海にある香川県とは似たところが多い。